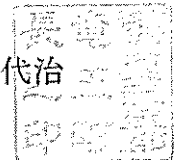




竜建監第168号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

滋賀県蒲生郡竜王町長 山口喜代治



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました中期的な計画
作成にあたって、本町として別紙のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見

＝重点化を進める上で特に優先度の高い政策＝

【竜王インターチェンジの改良・増設】

- ・近畿の大動脈である名神高速道路は、本町における産業、経済、観光、日常生活等の重要な交通手段であります。
 - ・竜王町においては昭和57年に竜王インターが供用開始されて以来その役割は年々増大し、地域経済活動等の利用増大に併せて機能の強化が求められております。
 - ・特に、竜王インターは出入口料金所から国道477号までの区間が短距離であることから、一般車輛の通行を妨げるなど、インターそのものの改造が緊急の課題となっております。
 - ・併せて、地域経済、広域経済に大きな影響力を持つインター周辺での産業立地等の増大が見込まれる状況から、今後益々インターの役割は重要性は増してきます。
- ★地域経済活動に併せたインターの改良または増設（スマートインター含む）が必要であると考えます。

【国道477号の拡幅改良】

- ・竜王インターからの接道となっている国道477号は、旧県道、旧町道そのままの形態で国道昇格となっているため、現状の経済活動に支障を及ぼす道路構造となっております。
 - ・このような状況の中で、インター周辺、国道477号沿道で開発計画が推進されています。
 - ・今後の交通量に対応するには、現状の国道477号では、交通安全上からも極めて危険であると考えています。
 - ・併せて、近接する工業団地からの輸送形態に影響を与え、経済を失速させることは到底できません。
- ★このことから、国道477号の四車線化を視野に入れた拡幅改良工事（歩道設置含む）を最優先的に進めていただきたい。

【国道8号のバイパス化】

- ・竜王から国道8号を活用した大津方面への経済活動においては、野洲地先の慢性的な渋滞により、国道利用者の道路改良等の要望はピークにあります。

- ・名神高速道路が事故等により閉鎖されたのなら、その車輛は国道に流れ出し、通行不能状況に陥ります。

★野洲市から以北のバイパス計画を早急に進めていただきたい。

【広域幹線道路「(仮称)野洲竜王線」「(仮称)甲西竜王線」の新設】

- ・竜王インターは、竜王町・旧野洲町・旧甲西町のほぼ中央に位置し、国土幹線である国道8号、1号の分岐点に位置する栗東市に近接していることから交通の重要な位置にあります。
- ★こういった交通体系の中で、地域の生活を支える道路ネットワークの強化を図るため、野洲市方面から、湖南市方面からの広域幹線道路網の整備推進にご支援をお願いしたい。

＝効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと＝

- ・生活基盤の活性化を促す、県内および市町を縦横断する経済動脈は早急に整備すべきであります。
- ・特に、市町村合併等が進む今日では、市町の境界付近は整備が行き届かない状況であることから、県市町に任すことなく緊急的な対策をお願いします。
- ・社会資本である道路整備においては、無駄は少ないと考えますが、道路の持つ役割(生活道路、災害関連、交通事故対策、地球温暖化対策、沿道環境対策等)を整理し、バリアフリー等弱者にとっても快適な道路網を構築していくことが必要と考えます。
- ・また、将来を見据えて生活空間の安全を守るため生活道路と産業経済道路は出来る限り分割すべきであります。

＝その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見＝

- ・本町の道路整備状況については、広域幹線道路網の計画付けをはじめ、町内道路網の抜本的な見直しを予定しておりますが、現状の道路状況を見ますと本町を通り貫ける通過交通量の増大により日増しに舗装が劣化してきております。併せて、道路幅員が狭小でありますことから歩行者の安全確保が急務な状況であります
- ★道路特定財源は、道路利用者が安全で快適な道路空間を得るために活用いただいているものであり、道路改良はもとより道路維持補修に係る財源手当についても道路特定財源が活用できる特段の御配慮をお願いしたい。